

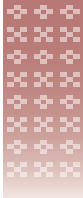
資料編





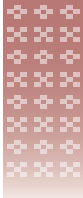
## 消防学校の沿革

西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
1972年 (昭和47年)	5月15日	総務部の出先機関として沖縄県消防学校が設置される(行政組織規則)	5月13日:琉球政府閉庁式 5月15日:午前0時、沖縄が本土復帰して「沖縄県」誕生 5月15日:政府主催「沖縄復帰記念式典」が東京の日本武道館と那覇市民会館で同時開催 5月15日:沖縄県は、県庁の除幕式と開庁式を開催 5月15日:ドルから円への通貨切り替え開始 6月1日:救急業務が警察から各市町村へ移管される 6月25日:戦後初の県知事選挙で屋良朝苗氏当選(6月30日就任) 9月30日:自衛隊、沖縄に本格的に移駐 12月18日:政府が「沖縄振興開発計画」を決定
1973年 (昭和48年)	1月6日 2月1日 4月15日 10月18日 12月1日	学校建設用地(297.65平方メートル)を西原町から購入する 初代の校長及び職員が発令される 学校敷地造成工事及び本館建設工事を着工する 消防ポンプ自動車購入 本館(1階コンクリート建)完成	5月3日:復帰1周年記念の「若夏国体」を開催(～6日)
1974年 (昭和49年)	2月23日 3月1日 3月7日 3月11日  3月15日  3月28日 4月4日 5月7日 9月2日 8月12日	校訓制定 食堂及び厨房設備完成 校章及び校旗制定(告示) 消防学校が消防防災課内から西原町内に移転する <b>消防学校の開校式及び最初の教育訓練として救急専科(第1期)を開講して入校式を挙げる(開校記念日)</b> 救急専科修了 沖縄県消防学校規則制定 初任教育(第1期)開講(8月3日卒業) 初任教育(第2期)開講(12月5日卒業) 消防団員事務吏員科開講(14日終了)	3月2日:那覇市小禄の下水道工事現場で不発弾爆発事故発生(死者4名、負傷者34名) 4月1日:沖縄市誕生(コザ市と美里村が合併)同時に沖縄市消防本部、消防署、消防団が発足 4月15日:沖縄県消防協会事務局が那覇市消防局から沖縄県消防防災課へ移転
1975年 (昭和50年)	1月27日 2月1日  2月17日 5月12日 6月16日	警防科(第1期)開講(2月8日終了) 化学実験室及び寄宿舍(本館2階増築)、車庫、燃焼実験室完成 予防科(第1期)開講(3月1日終了) 救急自動車購入 特別科(第1期)開講(28日修了)	4月20日:本部大橋(352.4m)開通式 5月20日:沖縄自動車道(許田～石川)開通 6月11日:県立平和祈念資料館が開館 7月17日:「沖縄国際海洋博覧会」開会式御臨席のため、皇太子同妃両殿下下行啓(～19日) 7月20日:「沖縄国際海洋博覧会」開幕
1976年 (昭和51年)	2月19日 3月10日 4月9日 8月18日	消防ポンプ自動車及び諸計器の寄贈((財)沖縄国際海洋博覧会協会)受ける 消防ポンプ自動車購入 移動消防学校(八重山、宮古、与勝、久米島、本部及び読谷村)開設 無線通信科(第1期)開講(27日修了)	1月17日:「沖縄国際海洋博覧会」閉会式ご臨席のため、皇太子同妃両殿下下行啓(～18日) 6月13日:復帰後2度目の県知事選挙で平良幸市氏当選(25日就任) 12月22日:宮古、八重山とのダイヤル電話開通、NHKテレビも同時放送される
1977年 (昭和52年)	3月15日 8月22日	本訓練塔(7階建24メートル)完成 消防団員幹部教育科(第1期)開講(24日修了)	4月8日:沖縄県軍用地転用促進協議会設置 11月18日:第1回沖縄の産業まつり開催
1978年 (昭和53年)	2月6日 4月1日 8月30日	警防科(救助課程)(第4期)開講(23日修了)(警防課に救助課程新設) 消防学校に副校長の職を設置(行政組織規則) 水槽付消防ポンプ自動車購入	1月10日:那覇市与儀の神里原で大火(死者1名、全焼27棟) 7月30日:午前6時、県下一斉に交通方法の変更を実施 10月1日:沖縄平和祈念堂開堂式 12月10日:県知事選で西銘順治氏当選(10日就任)



西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
1979年 (昭和54年)	3月13日 5月1日 11月12日 12月17日	福岡県消防学校と姉妹校関係を結ぶ 初任教育(第11期)開講(同年から初任教育は年1回となる)(9月29日卒業) 初級幹部科(第1期)開講(21日修了) 中級幹部科(第1期)開講(22日修了)	4月1日:西原村、町制施行 5月15日:那覇-石垣間にジェット便就航 7月5日:下地空港供用開始(日本初のパイロット訓練飛行場) 10月1日:琉球大学医学部開設 10月1日:東風平村、町制施行
1980年 (昭和55年)	11月18日	冷房設備及び受電設備完成	4月1日:南風原・北谷・勝連・金武村、町制へ移行 4月1日:久米島消防組合設立 6月1日:佐敷村、町政施行 10月29日:米海兵隊駐屯地キャンプ・ハンセンで山林火災発生、40日間燃え続ける
1981年 (昭和56年)	9月1日	仮設屋内訓練場兼倉庫完成	6月1日:社団法人沖縄県対米請求権事業協会設立 12月31日:キャンプ瑞慶覧・ハンビー飛行場部分全面返還
1982年 (昭和57年)	2月26日 12月20日	福岡県消防学校と交歓会 琉球大学と土地交換(263.89平方メートル)	5月15日:復帰10周年記念式典 8月5日:政府が第2次沖縄振興開発計画を決定 8月26日:南西航空機、石垣空港への着陸に失敗、爆発炎上 11月14日:県知事選挙で西銘順治氏が再選(12月10日就任)
1983年 (昭和58年)	3月25日	擁壁工事及び駐車場完成	3月18日:宜名真トンネル(1,045m)開通 6月1日:沖縄県防災行政用無線開通 7月12日:第19回献血運動推進全国大会ご臨席のため皇太子同妃両殿下行啓(13日まで) 10月26日:安波ダム、普久川ダムの完工式典
1984年 (昭和59年)	3月15日 3月25日 10月3日	沖縄県消防学校開校10周年記念日 本館2階便所増築 救急自動車寄贈((株)オータ・オキナワ)受ける	3月31日:県中央卸売市場開場式典 10月9日:琉大医学部施設竣工並びに附属病院開院記念式 10月29日:宮古群島ミカンコミバエ根絶宣言
1985年 (昭和60年)	2月26日 3月5日 11月9日	消防団員普通科(第1期)開講(28日修了) 機関科(第1期)開講(23日修了) 仮設屋内訓練場新築及び校舎ひさし改修	2月13日:瀬底大橋(762m)開通 4月1日:本県初の海水淡水化水道事業、北大東村で開始 4月13日:本県初の人間国宝に金城次郎氏 4月17日:沖縄国際センター(JAICA沖縄)開所式 4月28日:第1回全日本トライアスロン宮古島大会 6月14日:ハワイ州(アメリカ)姉妹提携調印式 12月8日:第1回NAHAマラソン
1986年 (昭和61年)			2月20日:八重山群島ミカンコミバエ根絶記念式典 4月1日:県立芸術大学開学 4月11日:泊大橋(1,118m)開通 4月25日:県民の森開園式 11月16日:県知事選挙で西銘順治氏が三選(12月10日就任)
1987年 (昭和62年)	4月1日 5月26日	消防学校の「かい」指定(財務規則) はしご自動車特別教育(第1期)開講(28日修了)	3月25日:於茂登トンネル(1,174m)開通 5月2日:県総合運動公園開園(沖縄市) 5月31日:米軍牧港住宅地区(現那覇市都心)が全面返還 7月25日:宜野湾港マリーナ開港式 9月3日:沖縄コンベンションセンター落成式 9月20日:第42回国民体育大会「海邦国体」夏季大会開幕(30日まで)

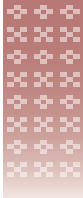
西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
1987年 (昭和62年) (続き)			10月8日：沖縄自動車道(石川～那覇)開通 10月24日：皇太子同妃両殿下行啓(～25日) 10月25日：「海邦国体」秋季大会開幕(～30日) 11月12日：皇太子同妃両殿下行啓(～15日) 11月14日：第23回全国身体障害者スポーツ大会「かりゆし大会」開幕(～15日) 11月27日：宮古群島ウリミバエの根絶宣言
1988年 (昭和63年)	4月1日 8月31日 11月18日	消防学校に庶務課及び教務課を設置(行政組織規則) 水槽付ポンプ自動車購入 消防学校施設整備検討委員会設置要綱制定及び同委員会設置(消防防災課)	7月1日：自由貿易地域那覇地区供用開始 9月17日：県人ブラジル移民80周年
1989年 (平成元年)	1月10日 12月6日	第1回消防学校施設整備検討委員会開催 第2回消防学校施設整備検討委員会開催及び消防学校移転整備に関する報告書の提出	1月8日：昭和天皇崩御、新年号「平成」施行 6月23日：ひめゆり平和祈念資料館開館 7月22日：南西航空「宮古～東京」直行便運航 11月26日：第1回ワールドおきなわ
1990年 (平成2年)	11月6日	潜水救助特別教育(第1期)＜現水難救助研修＞開講(14日修了)	1月26日：県庁舎(行政棟)落成式 2月1日：本県初の美術館「浦添市美術館」開館 6月23日：沖縄全戦没者追悼式に海部俊樹首相出席(歴代首相初) 8月23日：第1回「世界のウチナーンチュ大会」開催(～26日) 10月27日：県立郷土劇場落成記念式典 11月18日：県知事選挙で大田昌秀氏が当選(12月10日就任) 11月22日：暴力団三代目旭琉会が分裂抗争。高校生1人射殺、翌23日には、警察官2人射殺される
1991年 (平成3年)	3月19日 6月10日 9月13日	救助工作車購入 移動式クレーン、玉掛特別教育開講(15日修了) 車庫増設	4月4日：県立沖縄看護学校開校式・入学式 8月20日：尚弘子氏が副知事に就任、本県初の女性副知事(全国2番目) 11月5日：沖縄開発庁長官に伊江朝雄参議院議員が就任、本県出身者初の国務大臣
1992年 (平成4年)	1月10日 1月10日 2月19日 10月5日	はしご自動車寄贈(那覇市消防本部)受ける 応急処置拡大に伴う救急教材備品購入 救助科(第1期)開講(3月18日修了) ※警防科より分離新設 中型バス購入	2月14日：池間大橋(1,425m)開通 5月15日：復帰20周年記念式典 7月30日：県庁舎(議会議棟)落成式 9月28日：政府が第3次沖縄振興開発計画を決定 11月3日：首里城公園(国営沖縄記念公園首里城地区)の一般公開開始 11月18日：サンタクルス州(ポリビア)と姉妹提携調印式
1993年 (平成5年)	4月27日 5月6日 7月29日 9月3日 10月15日 10月21日 12月21日	沖縄県消防学校開校20周年事業期成会(会長 大里喜誠)が結成される 仮設寄宿舎完成 第3回消防学校施設整備検討委員会開催(消防防災センター建設基本構想案作成) 沖縄県消防防災センター(仮称)建設基本構想策定 沖縄県消防防災センター建設用地取得及び造成費として2,208,031千円が予算化される 消防団長研修開講(22日修了) 消防長研修(第1期)開講(22日修了)	1月10日：NHK大河ドラマ「琉球の風」放送開始 4月23日：天皇皇后両陛下下行幸啓(～26日)両陛下初のご来県 4月25日：第44回全国植樹祭 9月2日：台風13号久米島を直撃、災害救助法適用 10月30日：全県でウリミバエ根絶達成 11月18日：沖縄県警察棟落成式 11月24日：那覇東バイパスの一部「とよみ大橋(445m)」開通 12月16日：先島で民間TV放送開始 12月20日：財団法人おきなわ女性財団設立



西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
1994年 (平成6年)	3月15日 3月15日 3月15日 10月28日 10月31日	沖縄県消防学校20周年記念行事挙行 沖縄県消防学校開校20周年記念誌（消防学校20年のあゆみ）発刊 校旗の寄贈（沖縄県消防学校開校20周年事業期成会） 敷地造成工事着手 施設の基本設計完了	3月1日：「銀座わしたショップ」が東京銀座でオープン 4月1日：名城大学開学 4月4日：嘉手納基地所属のF15戦闘機が黙認耕作地に墜落 11月20日：県知事選挙で大田昌秀氏が再選（12月10日就任）
1995年 (平成7年)	3月30日 4月1日	施設の実施設設計完了 校訓を変更（「人格の陶冶」、「技術の錬磨」、「親和と明朗」から「厳正な規律の保持」、「知識と技術の修得」、「体力と気力の錬成」へ）	3月13日：来間大橋（1,690m）開通 6月23日：「平和の礎」完成除幕式 8月1日：県公文書館開館 8月2日：戦後50周年「慰霊の旅」のため天皇皇后両陛下下行幸啓 9月28日：知事が国の米軍用地強制使用手続き代理署名を拒否 10月21日：少女暴行事件糾弾、日米地位協定見直し要求の県民総決起大会 12月1日：「救命救急士」の本格運用開始
1996年 (平成8年)	10月31日 11月21日 11月29日 12月2日	新校舎竣工 新校舎工事完了に伴う施設引き渡し 旧西原校舎の閉校式を行う 新校舎へ移転完了	1月11日：又吉栄喜氏の「豚の報い」が第114回芥川賞受賞 4月12日：普天間飛行場全面返還で日米が合意 7月27日：沖縄県女性総合センター（ているる）開館記念式典 9月8日：日米地位協定の見直しと基地の整理縮小の賛否を問う県民投票実施 12月2日：日米特別行動委員会（SACO）の最終報告、普天間基地など11施設の返還承認
1997年 (平成9年)	1月22日 5月20日 7月23日 9月1日 10月28日	新消防学校落成式を挙行 ポンプ操法指導員研修（第1期）開講（23日修了） 消防団員ポンプ操法科（第1期）開講（25日修了） ポンプ操法審査員研修（第1期）開講（4日修了） 婦人防火クラブ研修（第1期）開講（29日修了）	2月7日：浜比嘉大橋（900m）が開通 2月14日：初代県知事の屋良朝苗氏が死去 7月15日：皇太子同妃両殿下下行啓（～17日） 7月16日：第9回全国農業青年交換大会 7月17日：目取眞俊氏が「水滴」で第117回芥川賞受賞 7月31日：県立武道館（アリーナ棟）落成 8月21日：沖縄空手・古武道世界大会開催（～24日） 9月4日：福建省（中国）友好県省締結調印式 11月21日：復帰25周年記念式典（国主催）
1998年 (平成10年)	1月26日 3月10日 4月1日 7月22日	消防学校運営協議会設置 沖縄県消防殉職者慰霊碑が糸満市摩文仁から消防学校敷地内に移転 組織改編により総務部から文化環境部に編入 消防団員警防科（第1期）開講（24日修了）	2月6日：知事が名護市の住民投票結果、環境問題などを理由に普天間飛行場代替の海上基地建設に反対表明 11月15日：県知事選挙で稲嶺恵一氏が当選（12月10日就任）
1999年 (平成11年)	2月25日	自衛消防隊研修（第1期）開講（26日修了）	4月4日：選抜高等学校野球大会で沖縄尚学高校が県勢初優勝、沖縄尚学高校野球部は初の沖縄県県民栄誉賞を受賞（19日） 4月29日：2000年九州・沖縄サミット首脳会合の主要国首脳会議の会場が沖縄県に決定 5月26日：那覇空港新国内線旅客ターミナルビル供用開始 6月3日：知事、日本人ボリビア移住100周年記念式典に出席



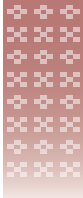
西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
2000年 (平成12年)	2月21日 2月22・23日 3月24日 4月7・10日 5月10・18・ 29～31日 6月15日 6月26・27日 7月19日 12月9日	サミットに関する講演会(演題:沖縄サミット消防特別警戒について)が開催され、県内各消防本部消防長等80名が参加 指揮訓練(内容:現場指揮要諦、部隊運用、無線運用、図上訓練)が行われ、県内各消防本部から42名が参加 屋内訓練場の台風災害復旧工事完了 自衛消防隊員訓練Ⅰ、Ⅱが行われ、合計81名が参加 災害発生時対応事前訓練が本校及び沖縄残波岬ロイヤルホテルで実施され、県内各消防本部から述べ200名が参加 県知事と各消防本部管理者間で「講師派遣に関する協定」を締結 無線通信訓練Ⅱが実施され、38名が参加 九州・沖縄サミット消防特別警戒部隊結団式が行われ、県内外の消防職員450名、消防車両27台、ヘリコプター2機、沖縄県副知事等50名が参加(本校は、サミット期間中県外消防職員80名の宿舎となる) 体育指導者養成研修(第1期)(開講)(11日修了)	1月7日:沖縄県人ハワイ移住100周年記念式典開催 3月27日:宜野湾バイパス全線開通(宜野湾市伊佐～浦添市牧湊、4.5Km) 4月1日:沖縄県平和祈念資料館開館(移転改築) 4月19日:公立久米島病院開院式典 4月26日:県は新石垣空港の建設位置をカラ岳陸上とする方針を正式に決定 6月2日:沖縄県海洋深層水研究所開所式典 6月25日:衆院選で東門美津子氏が当選(沖縄初の女性国会議員) 7月21日:九州・沖縄サミット首脳会合開催(～23日) 9月2日:沖縄県人カナダ移住100周年記念式典 12月2日:「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録
2001年 (平成13年)	2月5日	沖縄県消防学校運営方針を策定	4月2日:NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」放送開始 4月21日:皇太子殿下行啓(～23日) 4月22日:「みどりの愛護のつどい」を国営沖縄記念公園で開催 4月25日:沖縄産業支援センター落成
2002年 (平成14年)	5月30日 9月30日	北東側斜面の地滑り対策工事及び地滑り復旧工事完了 警防指揮技術研修(第1期)開講(10月4日修了)	4月1日:豊見城村が豊見城市へ移行、村消防本部から市消防本部へ名称変更 4月1日:久米島町誕生(具志川村、仲里村が合併)、久米島消防組合から久米島町消防本部に名称変更 4月1日:嘉手納町、北谷町及び読谷村の消防を合併し、比謝川行政事務組合ニライ消防本部を発足する 4月1日:県内の27JAを統合し「JAおきなわ」が発足 5月19日:復帰30周年記念式典(県、国共催) 7月10日:政府が沖縄振興計画(第4次振計相当)を決定 11月1日:沖縄美ら海水族館開館 11月17日:県知事選挙で稲嶺恵一氏再選(12月10日就任)
2003年 (平成15年)			4月26日:那覇空港自動車道(南風原～豊見城)開通 8月10日:沖縄都市モノレール「ゆいレール」(那覇空港駅～首里駅)開業
2004年 (平成16年)	3月15日 5月14日 5月14日 11月29日	沖縄県消防学校開校30周年記念日 沖縄県消防学校開校30周年記念式典を挙行 沖縄県消防学校校歌制定 予防査察科(第1期)開講(12月17日修了)	1月18日:国立劇場おきなわ開場記念式典 1月23日:天皇皇后両陛下行幸啓(～26日)初めて離島(宮古島・石垣島)を御訪問 4月10日:国立沖縄工業高等専門学校第1回入学式 8月13日:米軍の大型輸送ヘリコプターCH-53Dが沖縄国際大学構内に墜落 8月22日:対馬丸記念館開館



西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
2005年 (平成17年)	2月1日 4月1日 5月23日	危険物科(第1期)開講(16日修了) 組織改編により文化環境部から知事公室に 編入 上級幹部科(第1期)開講(25日修了)	2月8日:古宇利大橋(1,960m)が開通 4月1日:うるま市誕生(具志川市、石川市、勝連町、 与那城町が合併) 4月1日:合併に伴い3消防本部(具志川市、石川市、 与勝事務組合消防本部)を統合し、「うる ま市消防本部」が発足 4月8日:皇太子殿下行啓(～10日) 4月10日:「第46回米州開発銀行(IDB)・第20回米州 投資公社(IIC)年次総会」が沖縄コンベン ションセンターで開会(～12日) 10月1日:宮古島市誕生(平良市、城辺町、下地町、 上野村、伊良部町が合併) 10月1日:合併に伴い宮古広域消防組合と伊良部消防 本部を統合し、「宮古島市消防本部」が発足
2006年 (平成18年)	2月6日 2月22日 4月1日	火災調査科(第1期)開講(17日修了) 特殊災害科(第1期)開講(3月2日修了) 組織改編により「庶務課・教務課」を廃止	1月1日:南城市誕生(佐敷町、知念村、玉城村、大 里村が合併) 1月1日:八重瀬町誕生(東風平町、具志頭村が合併) 3月16日:県立南部医療センター・こども医療センター 開院記念式典 9月18日:「しまくとぅばの日」制定記念式典 11月18日:県知事選挙で仲井真弘多氏が当選(12月10 日就任)
2007年 (平成19年)			8月20日:中華航空機火災が発生(那覇空港)(負傷 者5名) 11月1日:県立博物館・美術館開館
2008年 (平成20年)	9月9日	福岡県消防学校と姉妹校結成30周年記念式 典を挙行	4月4日:選抜高等学校野球大会で沖縄尚学高校が9 年ぶり2度目の優勝 10月23日:北京パラリンピック「陸上男子マラソン(車 いすT52)」で銀メダルを獲得した上与那 原寛和選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞 12月1日:ドクターヘリ運用開始(沖縄県)
2009年 (平成21年)			3月31日:南城市の一部(旧佐敷町地域)が東部消防 管轄から島尻消防、清掃組合へ管轄移管 5月17日:プロバスケットボールbjリーグの琉球ゴー ルデンキングスが初優勝 9月2日:「琉球舞踊」が国の重要無形文化財に指定
2010年 (平成22年)			7月27日:皇太子殿下行啓(～29日) 7月28日:平成22年度全国高等学校総合体育大会「美 ら島沖縄総体2010」開幕(～20日) 8月21日:全国高等学校野球選手権大会で興南高校が 県勢初優勝、同年の選抜高等学校野球大会 も優勝し(4月3日)、春夏連覇を達成 9月13日:興南高等学校野球部が沖縄県県民栄誉賞を 受賞 11月16日:「組踊」がユネスコ無形文化遺産に記載 11月28日:県知事選挙で仲井真弘多氏が再選(12月10 日就任) 12月27日:米女子プロゴルフツアーで日本人最多とな る5勝を挙げた宮里藍選手が沖縄県県民栄 誉賞を受賞

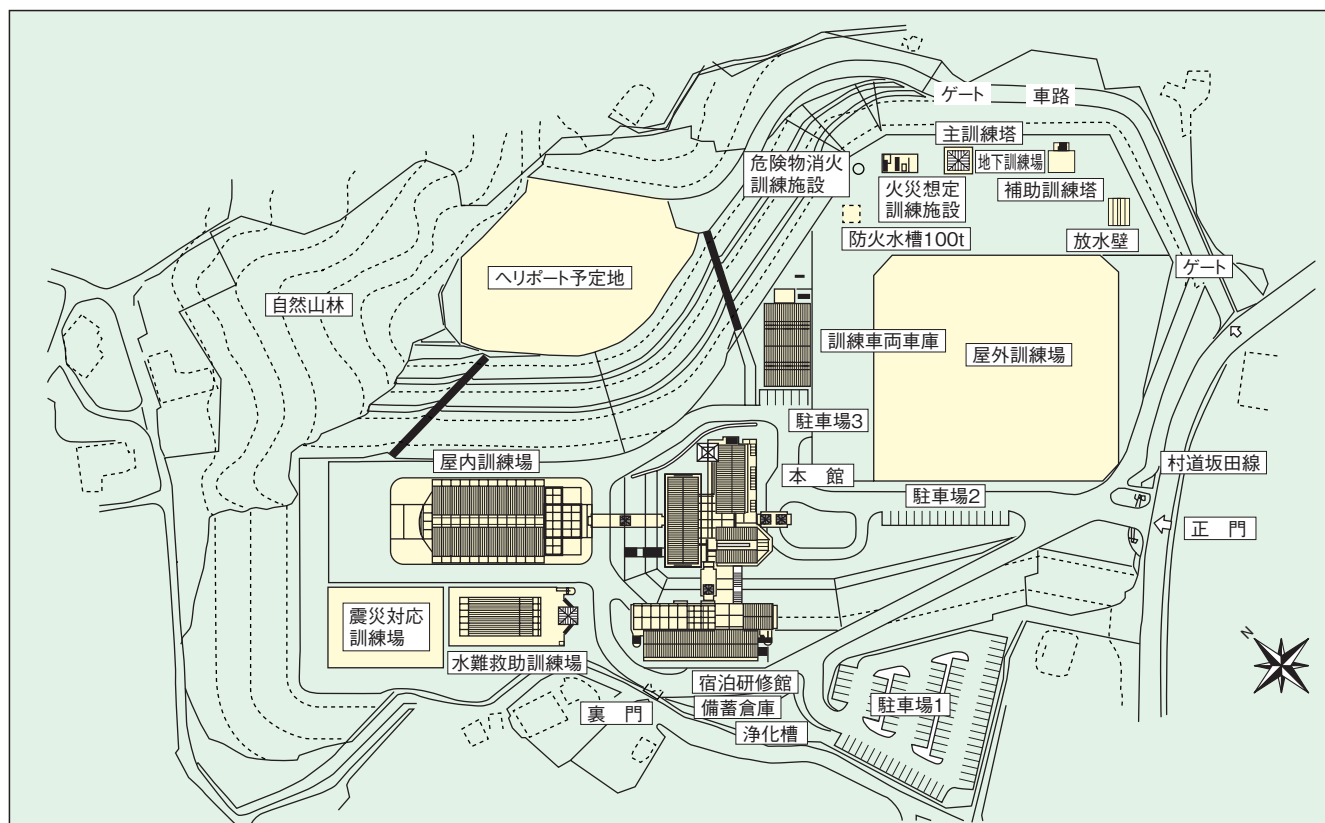
西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
2011年 (平成23年)	1月12日 2月28日	救急救命士気管挿管・薬剤投与研修(第1期)開講(2月25日修了) 防火管理指導員研修開講(第1期)(3月4日修了)	3月11日:東日本大震災発生 8月28日:那覇うみそらトンネル(1,140m)開通 11月1日:沖縄科学技術大学院大学(OIST)設立
2012年 (平成24年)	2月29日	空調設備改修工事終了	5月15日:復帰40周年記念式典 5月15日:県が「沖縄21世紀ビジョン基本計画」(第5次振計相当)を決定 10月1日:垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが普天間飛行場に配備 11月17日:天皇皇后両陛下下行幸啓(～20日) 11月17日:第32回全国豊かな海づくり大会開催(～18日)
2013年 (平成25年)			3月2日:新石垣空港「南ぬ島(ばいぬしま)石垣空港」開港記念式典(7日開港) 4月1日:那覇市が中核市へ移行
2014年 (平成26年)	3月15日	沖縄県消防学校開校40周年記念日	4月1日:那覇クルーズターミナル供用開始 6月26日:対馬丸犠牲者の慰霊のための天皇皇后両陛下下行幸啓(～27日) 11月16日:県知事選挙で翁長雄志氏が当選(12月10日就任)
2015年 (平成27年)	3月26日 11月25日	外壁及び屋根改修工事完了 消防団員初級幹部科(第1期)開講(27日修了)	1月31日:伊良部大橋(3,540m)開通 3月31日:キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還 4月25日:キャンプ瑞慶覧(泡瀬ゴルフ場跡)の返還地に大型ショッピングモールが開業
2016年 (平成28年)	2月1日 3月9日 3月14日	救急救命士処置拡大研修(第1期)開講(5日修了) 消防団員指揮幹部科(第1期)開講(11日修了) 新任救急隊員(救急救命士)研修(第1期)開講(18日修了)	4月1日:沖縄県消防指令センター本格運用開始 6月17日:「沖縄子どもの未来県民会議」設立 10月30日:県が「世界のウチナーンチュの日」を制定 11月22日:リオデジャネイロパラリンピック「ウイルチェアラクビー」で銅メダルを獲得した仲里進選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞 12月13日:米軍のMV-22オスプレイが名護市沿岸に墜落 12月22日:米軍北部訓練場の過半約4,000ヘクタールが返還
2017年 (平成29年)	3月15日 3月24日	模擬消火訓練設備工事完了 模擬消火訓練設備竣工記念式典開催	3月4日:沖縄空手会館会館 12月13日:普天間第二小学校校庭に米軍の大型輸送ヘリコプターCH-53Eの窓が落下
2018年 (平成30年)			3月27日:地方事情御視察のため天皇皇后両陛下下行幸啓(～29日) 5月23日:歌手として25年間活躍した安室奈美恵さんが沖縄県県民栄誉賞を受賞 8月8日:翁長雄志沖縄県知事が死去 8月29日:豊見城市消防本部新庁舎落成記念式典開催 9月30日:県知事選挙で玉城デニー氏が当選(10月4日就任) 12月25日:「玉陸(たまうどうん)」が県内の建造物として初めて国宝に指定
2019年 (平成31・令和元年)		※令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により「女性防火クラブ研修(第24期)」が中止となる	2月24日:辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票を実施 10月1日:沖縄都市モノレールの浦添延長区間が開業 10月31日:首里城正殿から発生した火災により正殿等9つの主要施設が焼失





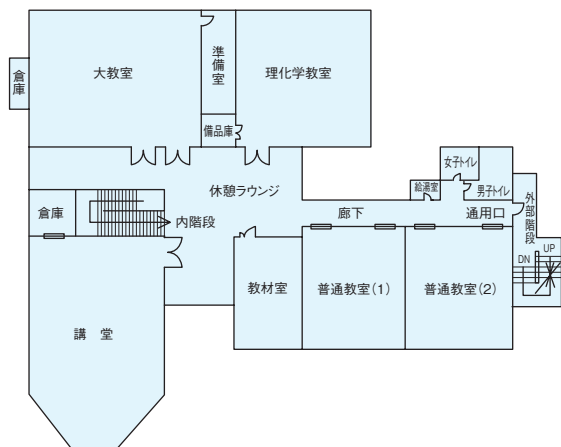
西暦 (和暦)	月 日	沿 革	沖縄県内の出来事
2020年 (令和2年)		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により「特殊災害科、危険物科、救助科、中級幹部科、防火管理指導員研修、新任救急隊員（救命士）研修、救急隊長研修、消防団員警防科、消防団員初級幹部科、消防団員指揮幹部科、移動消防学校、女性防火クラブ研修、自衛消防隊研修」の当初計画を変更し、中止となる	1月8日：県内で33年ぶりに豚熱（CSF）の感染を確認 1月23日：令和元年（暦年）の入域観光客数が過去最高の1,016万3,900人を記録 2月14日：県内で初めてとなる新型コロナウイルス感染者を確認 3月26日：那覇空港第2滑走路の供用開始
2021年 (令和3年)	3月18日 3月18日	屋内訓練場照明設備LED取替修繕工事 宿泊研修館照明設備LED取替修繕工事  ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により「防火管理指導員研修、救急隊長研修、消防団員警防科、女性防火クラブ研修、自衛消防隊研修」が中止となる なお、救助科（第20期）は、開講後、新型コロナウイルス陽性者が出たため、中止となる ※移動消防学校（伊是名村）については、軽石流出の影響による船便欠航に伴い、4時間の開講となる	3月28日：沖縄アリーナ落成記念式典 7月26日：沖縄県北部及び西表島が奄美大島、徳之島（鹿児島県）とともに世界自然遺産に登録 8月27日：東京オリンピックでメダルを獲得した喜友名涼選手（「空手男子・型」金メダル）、屋比久翔平選手（「レスリング・グレコローマンスタイル77キロ級」銅メダル）、平良海馬選手（「野球」金メダル）が沖縄県県民栄誉賞を受賞することを発表 9月8日：東京パラリンピック「陸上男子車いすT52・400m及び1,500m」で銅メダルを獲得した上与那原寛和選手が沖縄県県民栄誉賞を受賞することを発表 10月8日：県内各地で海底火山噴火に由来するとみられる大量の軽石の漂着・漂流を確認
2022年 (令和4年)	3月23日 3月30日	屋外訓練場照明設備LED取替修繕工事 ヘリポート下部転落防止柵修繕工事	3月29日：おきなわ工芸の社会館記念式典 5月16日：政府・沖縄県主催の復帰50周年記念式典が東京と沖縄の2会場で同時開催 5月16日：県が「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」（第6次振計相当）を決定 10月22日：天皇皇后両陛下下行幸啓（～23日） 10月22日：第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」開催（～11月27日）
2023年 (令和5年)	4月11日 9月24日	第55期初任教育入校式 第55期初任教育実科査閲（卒業展示訓練）、卒業式	1月7日：沖縄県動物愛護管理センター譲渡推進棟「ハピアニおきなわ」開所式 4月1日：公立沖縄北部医療センターの設置主体となる沖縄県北部医療組合が発足 8月1日：台風第6号が1週間に渡って襲来。知事が被害状況を視察（～11日） 8月10日：ゆいレール開業20周年記念式典及び3両編成車両出発式 8月11日：第7回「山の日」全国大会おきなわ2023の開催 8月25日：FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催（～9/3） 9月18日：知事が国連人権理事会に出席 10月23日：首里城図柄入りナンバープレート交付スタート
2024年 (令和6年)	2月7日 3月13日 3月15日 3月15日 3月15日 3月15日	消防団員急患搬送業務基礎研修（第1期）開講（2月9日修了） 消防学校50年のあゆみ展示開催（～25日）（県立図書館） <b>沖縄県消防学校開校50周年記念日</b> 沖縄県消防学校開校50周年記念誌（消防学校50年のあゆみ）発刊 校旗の新調（消防学校50周年記念事業） 開校50周年記念「沖縄県消防学校オープンスクール」開催	1月12日：県は、1月9日に令和6年能登半島地震沖縄県支援対策本部を設置し、支援対策本部会議を開催。12日には、被災者の全面的な受け入れを決定

◇ 学校配置図

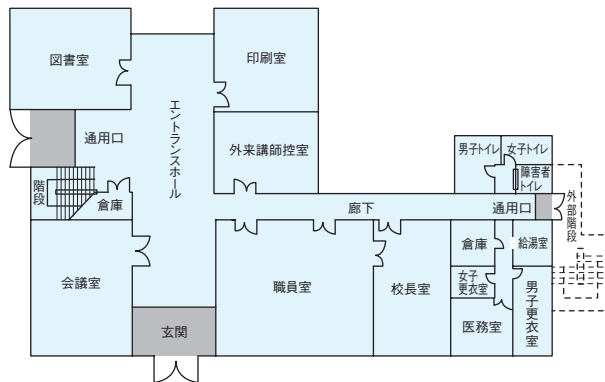


◇ 本館平面図

【2階】



【1階】



全景



本館





# 資料編

## 旧西原校舎の概要（昭和49年度～平成8年度）

所在地	西原町字上原193番地の4	昭和48年4月	本館、食堂建設着工
敷地面積	15,993㎡	昭和48年12月	本館竣工
建築面積	1,354㎡	昭和49年3月	食堂竣工
延面積	2,061.25㎡	昭和50年2月	寄宿舍竣工（本館2階に増設）
		昭和52年3月	訓練塔竣工
		昭和56年9月	屋内訓練場（仮設）（1棟）竣工
		昭和60年11月	屋内訓練場（仮設）（残1棟）竣工

## 現中城校舎の概要（平成8年度～現在）

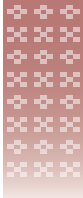
### （1）建設概要及び建設経緯

所在地	中城村字北上原910番地	平成5年9月	基本構想策定
敷地面積	66,413.13㎡	平成6年10月	基本設計完了
建築面積	4,574.82㎡	平成7年3月	実施設計完了
延面積	7,435.88㎡	平成7年9月	用地造成工事竣工
		平成8年10月	建設工事竣工

### （2）建物施設概要

施設名称	構造・規模	延面積	階数	主要用途	面積(㎡)	備考
本館	RC造 地上2階建	1,536㎡	1F	校長室	49	
				職員室	103	
				外来講師控室	28	
				図書室	55	
				会議室	53	
				印刷室	42	
				医務室	14	
				玄関ホール	99	
			2F	講堂	181	倉庫(21㎡)
				大教室	151	準備室(26㎡) 倉庫(7㎡)
				普通教室1	78	定員42名
				普通教室2	79	定員42名
				理化学教室	121	薬品倉庫(8㎡)、実験台12台
教材室	51					
休憩ラウンジ	122					
宿泊研修館	RC造 地下1階 地上3階建	2,330㎡	B1F	備蓄倉庫	166	
				電気室	42	
				ボイラー室	43	
				受水槽室	85	
			1F	食堂	123	
				厨房	58	休憩室(11㎡) 食品庫(7㎡)
				浴室	81	脱衣室(32㎡)
				ホール	57	
			2F	宿泊室	324	10室(内2室は女性専用)
				談話室	44	
				宿直室	16	
				舎監室	10	
				洗面室	18	女子洗面室(7㎡) 女子シャワー室(8㎡)
				洗濯室	15	女子洗濯室(4㎡) 女子トイレ(7㎡)





施設名称	構造・規模	延面積	階数	主要用途	面積 (㎡)	備 考
			2F	玄関ホール	60	
			3F	宿泊室	324	10室
				談話室	44	
				洗面室	18	
				洗濯室	15	
				ホール	40	
屋内訓練場	RC造一部S造 地上2階建	1,822㎡	1F	アリーナ	869	36m×24m
				器材庫	77	
				備品倉庫	37	救急資器材庫
				消防車駐車スペース	108	
				玄関ホール	122	
			2F	ジョギングコース	318	1周約117m
				多目的ホール	161	トレーニングルーム
水難救助訓練場	RC造 地上1階建	433㎡	1F	男子更衣室	18	
				女子更衣室	21	シャワー室兼用
				男子シャワー室	20	
				男子トイレ	9	
				女子トイレ	5	
			屋上	プール	333	プール水量873㎡ 25m×13m 水深1.3m～1.7m・6m
訓練車両車庫	S造 地上1階建	444㎡	1F	車庫	423	幅29m×奥行14.2m
				男子トイレ	12	
				女子トイレ	6	
主訓練塔	SRC造 地下1階 地上8階建て	537㎡	B1F	地下火災訓練室	199	消防設備訓練室 立坑救助訓練室 耐熱耐煙訓練室
			1F	訓練資機材倉庫	42	
			2F	安全ネット操作室	42	
			3F	渡過訓練室	42	
			4F	避難器具取扱訓練室	42	
			5F	ロープ結着訓練室	42	
			6F	降下訓練室	42	
			7F	中高層ビル 火災防御訓練室	42	
			8F	中高層ビル 火災防御訓練室	42	高さ 29.16m
補助訓練塔	RC造 地下1階 地上4階建て	229㎡	B1F	消防設備訓練室	73	訓練監視室兼消防設備訓練室、 立坑横坑救助訓練室
			1F	訓練資機材倉庫	39	
			2F	訓練資機材倉庫	39	
			3F	渡過訓練室	39	
			4F	積載梯子訓練室	39	高さ 15.10m
火災想定訓練施設	RC造 地上2階建	111㎡	1F	火災想定訓練室	46	
				ポンプ室	6	
			2F	火災想定訓練室	31	模擬消火訓練装置

### (3) 屋外施設概要

施設名称	概 要
屋外訓練場	クレー舗装一部アスファルト舗装 (120M×100M)、夜間訓練用照明設備
放水訓練施設	放水訓練壁 (地下水層50t)、防火水槽100t、訓練用消火栓4ヶ所
危険物火災訓練施設	危険物燃焼槽 (直径3M、RC造耐熱煉張り)
駐 車 場	駐車場1 (83台)、駐車場2 (16台)、駐車場3 (6台)、計105台

## 沖縄県消防学校教育訓練の種類

対象	種類	課程	実施年
消防職員	初任教育		毎年実施
	専科教育	警防科	隔年実施
		特殊災害科	隔年実施
		予防査察科	毎年実施
		危険物科	隔年実施
		火災調査科	隔年実施
		救急科	毎年実施
		救助科	毎年実施
	幹部教育	初級幹部科	隔年実施
		中級幹部科	隔年実施
		上級幹部科	隔年実施
	特別教育	水難救助研修	隔年実施
		ポンプ操法指導員研修	隔年実施
		防火管理指導員研修	毎年実施
		新任救急隊員(救命士)研修	毎年実施
		救急救命士処置拡大研修	令和5年度で終了
		救急隊長研修	毎年実施
	消防団員	基礎教育	
専科教育		警防科	毎年実施
幹部教育		初級幹部科	毎年実施
		指揮幹部科	隔年実施
特別教育		操法科	隔年実施
		急患搬送業務基礎研修	毎年実施
		現地教育(移動消防学校)	毎年実施
その他	その他の教育	女性防火クラブ研修	毎年実施
		自衛消防隊研修	毎年実施



# 沖縄県消防学校教育訓練の概要

## I 基本方針

消防学校で実施する教育訓練は、消防職員、消防団員及び消防関係者に対し、消防の責務を正しく認識させ、社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民から期待される水準を充たす消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な習得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できる消防職員、消防団員及び消防関係者の資質を高めることを目指し行うものとする。

## II 教育訓練の種類

### 1 消防職員に対する教育

#### (1) 初任教育

新たに採用された消防職員に対し、職務遂行に必要な基礎的知識と技術を習得させるとともに、人格の向上、体力と気力の練成、規律の保持、協同精神の醸成等の教育訓練を実施して、即戦力となる消防職員を養成する。

#### (2) 専科教育

複雑・多様化する各種の災害に対処するため、災害予防、救急処置、人命救助等の特定分野に関する専門職員を養成する。

- ①警 防 科 警防業務の現状と課題を理解し、指揮者に要求される各種災害事象に対する基本的な消防戦術、効率的な部隊運用、隊員の安全管理等の消防活動上必要な専門的知識と技術を習得する。
- ②特殊災害科 特殊物質に関する専門的知識を習得し、特殊かつ異様な災害への対応を含め、災害の様態に応じた的確な消防活動要領及び隊員の安全管理を優先して適切かつ効果的な消防戦術の指揮技能を習得する。
- ③予防査察科 予防査察業務の現状と課題を理解し、防火管理、建築規制、違反処理、消防用設備等に関する基本的な権限に基づき、公正・公平に執行できる専門的知識と違反對象物に対する是正技法等を習得する。
- ④危 険 物 科 危険物化学及び危険性物質の性状等を理解し、各種実験を通して危険物規制に関する業務上必要な専門的知識と技術を習得する。
- ⑤火災調査科 火災調査業務の現状と課題を理解し、火災原因調査、火災損害調査、鑑定等に関する基本的な権限に基づき、公正・公平に執行できる専門的知識と的確な判断力による調査書類の作成技法等を習得する。
- ⑥救 急 科 救急業務の現状と課題を理解し、救急医学に関する基本的知識と応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識並びに専門的技術を習得し、救急隊員の資格を取得する。
- ⑦救 助 科 救助業務の現状と課題を理解し、救助活動に関する専門的知識と技術を習得し、強靱な体力と気力を錬成する。

### (3) 幹部教育

組織の管理を職務とする長及び消防部隊の長又はその予定者に対する教育。組織運営を効率的・効果的に推進する幹部職員を育成する。

- ①初級幹部科 初級幹部としての責任と立場を認識し、消防行政の動向を踏まえた上司の補佐及び部下指導の技法を習得する。
- ②中級幹部科 中級幹部としての責任と立場を認識し、消防施策立案、部隊員管理及び災害現場指揮概論を再認識し、有機的な組織管理・運営に必要な知識と手法を習得する。
- ③上級幹部科 上級幹部としての職責を認識し、業務管理、人事管理及び危機管理に関する知見を習得する。

### (4) 特別教育

- ①水難救助研修 水難救助業務に必要な知識と技術を習得する。
- ②ポンプ操法指導員研修 消防ポンプ操法の指導員として必要な知識と技術を習得する。
- ③防火管理指導員研修 自衛消防隊の指導に必要な知識と技術を習得する。
- ④新任救急隊員(救命士)研修 救急科を修了していない救急隊員(救急救命士)が、救急業務の現状と課題を再認識し、さらなる専門的知識と技術を習得する。
- ⑤救急救命士処置拡大研修 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖投与等、病態に応じた適切な薬剤投与の知識と技術を習得する。(令和5年度で終了)
- ⑥救急隊長研修 救急業務の現状と課題及び救急隊長の役割を理解し、効率的・効果的な業務管理、現場指揮及び部下指導に必要な知識と技術を習得する。

## 2 消防団員に対する教育

### (1) 基礎教育

地域防災の担い手としての任務を理解し、消防組織法の概要及び消防防災対策に必要な基礎的な知識と技術を習得する。

### (2) 専科教育(警防科)

警防業務に関する知識及び行動原則並びに各種災害事象における消防団の役割及び活動内容を理解し、災害現場において中核的な活動要領を習得する。

### (3) 幹部教育

班長以上の階級にある者に対し、消防団の管理運営に関する知見を習得すると共に、災害対応時における指揮及び団員への訓練指導並びに地域住民に対する防災指導に必要な知識と技術を習得する。

- ①初級幹部科 消防団初級幹部としての責任と立場を認識し、消防団の運営に必要な規律、安全管理及び災害活動要領を習得する。
- ②指揮幹部科 分団の指揮者及び災害時における現場指揮者としての責任と立場を認識し、消防団の管理運営に関する知見を習得する。



#### (4) 特別教育

- ①操 法 科 沖縄県消防操法大会実施要領に基づく、消防ポンプ操法要領を習得する。
- ②急患搬送業務基礎研修 消防非常備町村の消防団員等が、急患搬送業務に必要な基礎的な知識と技術を習得する。(令和5年度新設)
- ③現 地 教 育 消防学校教官等を現地訓練要請町村(非常備消防町村)へ派遣することにより、消防団活動に必要な知識と技術を習得する。  
(移動消防学校)

### 3 その他の教育(消防防災関係者)

#### (1) 女性防火クラブ研修

女性防火クラブ員等が、消防に関する知識及び技術を習得する。

#### (2) 自衛消防隊研修

防火管理者講習を修了した者が、消防用設備、消火器具及び避難器具等の取扱訓練を実施し、防火管理上必要な知識と技術を習得する。



年度別教育訓練修了者実績（消防職員）①昭和48年度～平成10年度

単位：人

教育訓練の種類 年度		消防職員に対する教育																	消防職員合計												
		専科教育							幹部教育					特別教育																	
		警防科	特殊災害科	予防科	予防査察科	危険物科	火災調査科	機関科	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程	救急科	救助科	初級幹部科	中級幹部科	上級幹部科	新任消防長研修	はしご自動車特別教育	水難救助研修		警防指揮技術研修	ポンプ操法指導員研修	体育指導者養成研修	移動式クレーン玉掛特別教育	救急救命士気管挿管講習	救急救命士気管挿管・薬剤投与研修	救急救命士処置拡大研修	新任救急隊員（救急救命士）研修	救急隊長研修	ポンプ操法審査員研修	消防救助技術指導会研修	防火管理指導員研修
S48							34																								34
S49	61	16	15				21																								113
S50	53	16	7				16																								92
S51	52	31	21				25																								129
S52	74		16				21			35																					146
S53	61	30	16				38			26																					171
S54	44	31	12				48			31	19	14																			199
S55	48	39	22				48				22																				179
S56	48		21				153			32																					254
S57	55	33	21				108					23																			240
S58	33		16				88			35	24																				196
S59	28	38	19			25	45					21																			176
S60	42		26			34	35			33	25																				195
S61	25	28	22			29	43				17																				164
S62	28		25			31	52			35	20					22															213
S63	43	37	21			35	46				17					11															210
H元	28		17			34	43			39	21																				182
H2	30	33	23			33	44					25				38															226
H3	31					29	73			31	23					36					26										249
H4	36	33	17			24	124	61			23					21	31														370
H5	63		21				125				30				16	28															283
H6	58	28					137	68																							291
H7	48						134			30	21					27															260
H8	46								77	73																					196
H9	42	22	15							50	34	15				31	30											31			270
H10	26	21	20							43	30	12				30	26														208

# 年度別教育訓練修了者実績（消防職員）②平成11年度～令和4年度

単位：人

教育訓練の種類 年度	消防職員に対する教育																							消防職員合計							
	初任教育	専科教育										幹部教育					特別教育														
		警防科	特殊災害科	予防科	予防査察科	危険物科	火災調査科	機関科	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程	救急科	救助科	初級幹部科	中級幹部科	上級幹部科	新任消防長研修	はしご自動車特別教育	水難救助研修	警防指揮技術研修	ポンプ操法指導員研修	体育指導者養成研修	移動式クレーン玉掛特別教育	救急救命士気管挿管講習		救急救命士気管挿管・薬剤投与研修	救急救命士処置拡大研修	新任救急隊員（救急救命士）研修	救急隊長研修	ポンプ操法審査員研修	消防救助技術指導会研修	防火管理指導員研修
H11	45		30							40	24	16					32	28	23								25			263	
H12	39	20	22							40	32		19				36	22	16	26										272	
H13	42		35							40	28	20					34	29	13	23										264	
H14	38	20	35							45	25		12				25	30	13	7	30									280	
H15	42		36							40	32	14					25	25	21	15	29	25								304	
H16	44	18		12	11					34	25		16				18	24	11		23	35								271	
H17	44		25	12		13				35	19	12		10			20	18		14	24									246	
H18	41	24		12	12					27	18		17				20	12													183
H19	54		18	12		10				35		13		8	3		18	16									200			387	
H20	58				15					34	30		14		2				8									102		263	
H21	56	21		16		15				36		17		8	3		30	22								264	168			656	
H22	61		19	19	17					47	32		14						7				29				324	11		580	
H23	72	25		18		23				49		20		9			35	21					35						18	325	
H24	77		29	16	16					50	40		17										36				160	12		453	
H25	67	33		19		25				32		26		13			41	33					31				169	21		510	
H26	66		35	22	18					44	43		23										29				173	15		468	
H27	67	32		22		23				37		24		16			40	32						36	34		180	14		557	
H28	51		34	26	24					38	44		29											71	34				18	369	
H29	39	28		25		26				32		24		15			42	33						72	36				18	390	
H30	54		31	25	23					37	39		17											65	25				18	334	
R元	37	28		25		25				25	38	22		14			35	25						37	25				14	350	
R02	49			24						31																					104
R03	43		33	23	22					22			21						27						28						219
R04	61	26		17		23				35	33	19		11			33							25	22				13	318	
合計	2,350	711	224	551	345	158	183	274	908	670	1,180	893	426	372	104	24	54	705	79	434	51	194	84	160	281	207	22	520	1,276	172	13,612

※1 「救助科」は、平成元年度まで実施した警防科救助課程を含む。  
 ※2 「指導員科」は、(財)沖縄県消防協会から委託を受け実施している分を含まない。

年度別教育訓練修了者実績（消防団員・その他）①昭和48年度～平成10年度

単位：人

教育訓練の種類 年度	消防団員に対する教育						その他の教育			消防団員・その他 合計	消防職員・消防団員・その他 合計
	基礎教育	専科教育 警防科	幹部教育		特別教育		その他				
			初級幹部科	指揮幹部科	操法科	指導員研修	現地教育(移動消防学校)	女性防火クラブ研修	自衛消防隊研修		
S48										0	34
S49						14				22	149
S50						12				18	122
S51							189			24	342
S52			10				75			9	240
S53			6				93				270
S54							170				369
S55						14	40				233
S56						10	30				294
S57			10				110				360
S58			11				98				305
S59	9		10				275				470
S60	21		11				288				515
S61	14		11				200				389
S62	15		6								234
S63	23		10				61				304
H元	19		8				46				255
H2	16		15				42				299
H3	13		10				98				370
H4	11						202				583
H5			7				24			22	336
H6	21						21				333
H7	20						49				329
H8	13						40				249
H9	13					31	20	33			367
H10	16	15	10		21		115	31	61	7	484



# 年度別教育訓練修了者実績（消防団員・その他）②平成11年度～令和4年度

単位：人

教育訓練の種類 年度	消防団員に対する教育							その他の教育			消防団員・その他 合計	消防職員・消防団員・その他 合計
	基礎教育	専科教育 警防科	幹部教育		特別教育			その他				
			初級幹部科	指揮幹部科	操法科	指導員研修	現地教育（移動消防学校）	女性防火クラブ研修	自衛消防隊研修	その他		
H11	26	13			22		92	23			176	439
H12	26	21	8		18		117	16	128		334	606
H13	25	19	13		24		238	22			341	605
H14	23	16	13		18		199	16	72		357	637
H15	23	9	11		20		165	25	60		313	617
H16	25	12	8		11		19	22	90		187	458
H17	15	11			11		88	16	77		218	464
H18	20	10			13		132	15	73		263	446
H19	15	9	11		8		22	11	74		150	537
H20	19	7			6			16	68		116	379
H21	14	6	7		13		15	13	73		141	797
H22	23	9	7		13			15	53		120	700
H23	20	12	11		10			17	49		119	444
H24	23	15	10					11			59	512
H25	31	13	4		20			11	63		142	652
H26	34	13	10					13	65		135	603
H27	29	16	10	6	23		70	11	54		219	776
H28	29	12	8	7			33	6	75		170	539
H29	33	12	8	6	23		46	8	64		200	590
H30	55	5	4	10			37	15	68		194	528
R元	50	6	7		16		45		52		176	526
R02	28										28	132
R03	46		8		16		18				88	307
R04	38	7	7	4			39	15	62	45	217	535
合計	894	268	300	33	337	50	3,661	381	1,381	147	7,452	21,064

※1 「その他」の内訳は以下のとおり。

- S49 消防団 事務吏員科 22人
  - S50 消防職員 特別科 18人
  - S51 消防職員 特別科 7人
  - S51 無線通信科 17人
  - S52 消防職員 特別科 9人
  - H 5 消防団長研修 22人
  - H10 無線通信科 7人
  - R4 解毒剤自動注射器研修 45人
  - 計147人
- (R4の研修は「講習会設置要綱」に基づく研修)